

似島 (広島県広島市) モビリティ×ICTで目指すスマートアイランド似島プロジェクト

島の課題

- 人口流出及び高齢化が加速。高齢化率52.3%。
- 公共交通がないことから島民の生活利便性や来島者の回遊性が低い。
- 緊急・災害時のエネルギーの確保に懸念がある。

⇒ 次世代の持続可能な島内交通の確立や地産エネルギーの確保が必要



調査体制

似島スマートアイランド推進協議会

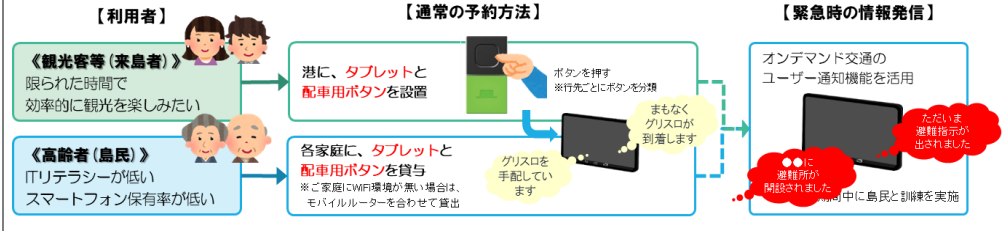
- 復建調査設計(株) (代表団体)
- 広島市
- (株) ビーシーシステム
- 似島連合町内会
- 地域おこし協力隊
- 似島臨海少年自然の家

主な取組概要

- グリーンスローモビリティ (GMS) の試行運行を行い、利用満足度、支払意思額、電力消費量を調査
- 同時に、GSMの動力源と島の災害時電源に資する地産エネルギーの可能性を検証

目指す姿・期待する効果

- **新たなモビリティやICT技術を活用し島内交通を構築し、島民及び来島者の回遊性を向上**
離島環境に親和性の高いGSMとワンプッシュで予約できる新たな通信システムを組み合わせることで、島民生活の利便性向上と来島者の回遊性の向上を同時達成する新たな島内交通の在り方を具体化を目指す。
- **利用可能な地産エネルギーの確保、カーボンニュートラルの推進**
島内における再生可能エネルギーの賦存量や利用可能量を調査、GSMの電力消費や島内需給バランスを検証し、蓄電池のシステム等、地域産業との連携可能性を考慮しつつ地産エネルギーの確保を目指す。



中ノ島 (島根県海士町) 海士町におけるICTを活用した介護職員業務の効率化・高度化実証プロジェクト

島の課題

- 夜勤を中心に介護人材が不足・高齢化。夜勤時の介護職員の主な負担として転倒や急病・急変のリスクに1人で対応する不安から生じる心理的負担や、16時間に及ぶ長時間労働による身体的負担が大きい。

⇒ 離島における介護供給を安定させるため、介護職員の働きやすい環境の整備、人材の確保が必要。



調査体制

海士町スマートアイランド実証コンソーシアム

- デロイト トーマツ コンサルティング (同) (代表団体)
- 海士町
- 社会福祉法人 あま福祉会

主な取組概要

- 特別養護老人ホーム(諏訪苑)でベッドセンサーと排泄予知機器を活用した新たな介護業務フロー・体制を作成・実施
- 新たな業務フローによる業務負担削減量の測定、介護職員からのヒアリング、業務フローの再検証
- 上記サイクルを繰り返し実施し、業務運用の定着を図る

目指す姿・期待する効果

- **センシング技術を活用し、介護対象者の転倒や急変リスクを感知し、介護職員の負担を軽減**
複数のICT機器を活用し、大量のアラートから転倒リスクの高い覚醒状態を把握したり、バイタルに異常がないことを把握したりすることで、夜勤時の介護職員の心理的負担を軽減する。介護対象者が排泄予知の無い覚醒状態の場合は、介護職員のサポートを取りやめる、また業務が集中しない時間帯は介護職員の見回り回数を減少させることで、夜勤時の介護職員の身体的負担を軽減する。

